

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成 28年 4月 1日 ~ 平成 33年 3月 31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況(10 点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 ×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例：4年目の 場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であ ると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した 値		開館時間中（１０：００～１８：００）自由来館となっている		
			②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をい う。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例：4年目 の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であ ると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出し た値	105% 未 満 ～ 95% 8点	【25年度】乳幼児 3,762人 小学生 8,257人 中高生 1,246人 大人 3,980人 来館人数 17,245人 【26年度】乳幼児 4,428人 小学生 8,434人 中高生 1,494人 大人 3,993人 来館者数 18,349人 【27年度】乳幼児 3,489人 小学生 8,137人 中高生 1,093人 大人 3,233人 来館者数 15,952人 【28年度】乳幼児 4,170人 小学生 7,573人 中高生 1,404人 大人 4,068人 来館者数 17,215人 ・小学生は、学童クラブに入る家庭が増えたため、一般利用の人数が減少 した。乳幼児親子対象の自主事業を増やしたため、乳幼児と大人の人数 が増加した。また、土日のクラブ活動に参加していない中学生の居場所と なったので中高生の来館人数も増加した。				
		平均値比(99.7%)= H28年度利用人数17,125人÷(H25,26,27年度の利用延べ人数 51,546 人÷3)（上記(3)適用)								
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施 (軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施 (中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	乳幼児対象事業（１年間に渡り月13回程度開催、計50回実施、延べ1,546名参加） 小学生対象事業（１年間に渡り月5,6回程度、計79回実施、延べ938名参加） 地域多世代間交流事業（１年間で7回程度開催、計74回実施、延べ1,088名参加） 中高生対象事業（主に夏休みに開催、計10回実施、延べ136名参加） 子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進（１年間に渡り月1.2回程度開 催、計19回実施、延べ479名参加）	仕様書 以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い適正に実施した。 ・地域や他団体と連携し事業を行っている。	13点			
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年より やや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より 劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年より かなり劣る 2～0点	乳幼児対象事業（1年間に渡り月5回程度開催、計64回実施、延べ1,032名参加 児童対象事業（1年間に渡り月8回程度開催、計105回実施、延べ1,701名参加 地域・多世代間交流事業（１年間に渡り月2, 3回開催、計65回実施、延べ651名参 加） 中高生事業（夏休みに2回開催、延べ9名参加） 子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進（1年間に渡り月7回開催、延べ47 名参加）	期待以 上 13 点	・園児対象の事業に力を入れたため、来館人数増加に繋がった。 ・地域の特性に合った事業を実施した。（新規事業で地区社協連携 行事や地域の中から講師を発掘し事業を実施した） ・社会福祉協議会の特性を生かした自主事業を行った。 ・学校や相談員、ボランティアと協力し、地域の子どもの見守り を行った。	13点			

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理業務 の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	定期清掃・日常清掃 ・地域の方と一緒に館庭や建物周りの草刈を月に1回、植木の剪定を年に2回行っている。 また、児童と一緒に館庭の草取りを年に3回行いボランティア活動育成に繋げてい	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数を適正に実施した。	10点
			②保守・点検			電気工作物運動遊具の保守点検は委託により実施 館庭整備の一部委託実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に実施した。	
			③保安・警備			非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施 夜間館内警備については委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			④小規模修繕			①印刷機修理(10,422円) ②事務室引き戸鍵取り替え(21,600円) ③図書室ドア ガラス取り替え(8,646円) ④センサーライト修繕(3,780円) ⑤遊戯室電気カバー修繕(16,200円) ⑥手摺修 繕(8,532円) ⑦一輪車バンク修繕(1,680円) ①～⑦については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理の負担 で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は速やかに対応した。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			日常業務の中で危険箇所を把握し、速やかに対応している。毎月1回職員による安全 点検及び、業者による遊具点検を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施した。 ・玄関ロビーと事務室の入り口を、利用者が利用しやすいような配 置にし環境設定にも配慮した。 ・フェンスや危険に繋がる場所に張り紙をし、安全に配慮した。 ・遊戯室のネットは破れたらその都度紐で修繕し、へこんだ壁や床 はテープや板で修繕し怪我防止に努めた。	
		(2)その他管理 業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録に基づいて適正に管理した。	適正(普通) 2点	文書目録に基づいて適正に管理した。	10点
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応。使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し裏紙の 再利用、メールでの対応、資源ごみのリサイクルを配慮している。・飲食を伴う行事 の時は、箸やお椀を持ち込みしてもらうなど、廃棄物の抑制に配慮している。 ・冷暖房・電灯をこまめに切る。冷房暖房は適正な温度に設定し環境に配慮してい る。 ・プールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。 ・多治見市によりミスト発生機器設置やゴーヤを植栽する等室温の上昇を抑えるよう に取り組んだ。 ・工作材料は再利用に心がけ実施している。 ・昼休み時は消灯に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			③バリアフリー			・玄関の上がり口に手摺を設置。 ・車椅子が玄関から室内に入りやすいよう取り外しができる板を常備。	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			④備品管理			・破損、不具合があったもので、購入可能なものは随時補充した。 ・備品台帳に沿って管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			⑤個人情報保護			社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を作成し適正に管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点 対象とする (事故なし及び事故等の 対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	事故なし	事故なし・対 応に不 備なし 0点	社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止 に繋げる体制をとっている。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	12,221,442÷11,818,420=103%	105%未 満～ 100% 4点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われた。	4点	

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)			分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	アンケートボックスを設置して随時意見を受け付けると共に、行事、乳幼児クラブ終了の際は、その都度アンケートを実施している。		期待以上 8点	アンケート実施により、利用者の要望（例えば、家ではできないダイナミックな遊び（パラシュート、トランポリン、絵の具や小麦粉などの感触遊び）など）にクラブで適切に対応した。			8点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし		苦情なし・適正(普通) 4点	社会福祉協議会として第三者委員を設け、即時対応できるようにした。			4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・子育て支援として、育児不安がある乳幼児を対象とした遊びの広場を発達支援センターと連携を図り実施した。 ・社会福祉協議会の特性や総合福祉センター内の障がい者、老人センター、母子父子福祉センターとの交流事業を実施した。 ・家庭環境や行動が心配な幼児、児童は、保健センターや学校、主任児童委員、市の相談員と連携を図り、早急な支援を強化した。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図った。 ・講師を招いて実技研修(一輪車・AED・支援児について)、職員研修(社協全体研修・東濃ブロック研修・職員交換研修・接遇研修・発達支援センターへ支援児研修)を実施した。 ・毎月1回代表者会議、年に1回常勤職員会議を実施し、各館との交流・ヒヤリハットなど周知している。		期待以上 14点	・なないろ広場に参加することにより、母親が育児不安が解消され、育児にゆとりが持てるようになり子どもの成長と向き合えるようになった。 ・学校、地区社協、まちづくり市民会議、公民館、区、主任児童委員などの地域組織や市の相談員や保健センターと適宜、連携・協力した地域全体で見守り、子育て支援に努めている。(小中学校教員が毎月1回来館し、子どもの様子や情報交換の場を設けている) ・毎週土曜日に地域の方が、子ども達と遊びにボランティアに来て見守ってくれた。(第2土曜日には、市の相談員による出張子ども相談を実施している) ・社会福祉協議会の特性を生かした事業を展開している。 ・職員研修を通し、個々の資質や事業運営の向上が図れた。			14点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし		遅れ・不備なし 減点なし	すべての書類を期日までに提出した。			0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施した。			0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下							合計84点		
												全体的な評価 ・良好な管理運営がされている。 ・地域との連携により3つの新規事業に取り組むことができた。また中高生ボランティアの参加が増加し、事業が充実した。		良好